

# 意見書

※意見書とは、市の公益に関することについて、議会としての意思を意見としてまとめた文書で、国会や関係行政庁に提出します。  
6月定例会では下記の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

## 地方財政の充実・強化に関する意見書（要約）



政府におかれては、政府予算と地方財政の検討にあたり、次の事項を実現されるよう要望する。

1. 増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、地方一般財源総額の確保を図ること。
2. 新型コロナウイルス対応事業に加えて地域経済の活性化を踏まえた、十分な財源措置を図ること。
3. 地方単独事業分も含めた十分な社会保障経費の拡充を図り、人材確保のための財政措置を講じること。
4. 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている1兆円につき、引き続き同規模の財源確保を図ること。
5. 引き続き臨時財政対策債に頼らない地方財政の確立に取り組むこと。

＜提出先＞

- ・衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・厚生労働大臣
- ・内閣府特命担当大臣（地方創生）・内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

## 安易な「病床削減」「医療従事者長時間労働」ではなく地域・医療職場の自主性を求める意見書（要約）



政府におかれては、安全な地域医療と医療従事者を疲弊させないため、次の事項を実現されるよう要望する。

1. 「病床削減・病院統廃合」は国が強制すべきではなく、地域医療と現場の実情と自主性を尊重すること。
2. 医療現場における三六協定は、内容を安易に締結させず、ゆとりある人員と安全な医療環境を目指すことを指導すること。

＜提出先＞

- ・内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣

## 沖縄戦戦没者の遺骨混入土砂を辺野古新基地などの埋立てに使用しないことを求める意見書（要約）



政府におかれては、次の事項を実現されるよう要望する。

1. 悲惨な沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用しないこと。
2. 日本で唯一、住民を巻き込んだ苛烈な地上戦があった沖縄の事情に鑑み、日本政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること。

＜提出先＞

- ・衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・外務大臣・厚生労働大臣・環境大臣・防衛大臣
- ・内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）

## 編集後記

今期から2年任期の新編集委員会がスタートしました。会派構成が変わり、編集委員も7名となりましたが、引き続き皆さまが読みたいと思える紙面づくりに取り組み、議会だよりの使命が果たせるよう努めていきたいと思っておりますので、前期委員同様よろしくお願ひします。

今期定例会も、コロナ禍が続く中、市民生活の安心・安全を確保するための対策を求める質問が多くありました。紙面の都合上、すべてのやりとりを掲載できておりませんので、視聴可能な方は、ケーブルテレビの中継放送や議会ホームページの録画放送も併せてご覧いただければ幸いです。

（文責：檀上正光）

### ●議会だよりの編集委員会

委員長	檀上 正光	宇根本 茂	飯田 照男
副委員長	三浦 徹	星野 光男	
	村上 隆一	二宮 仁	

### ●お問い合わせ先 [尾道市議会事務局]

〒722-8501 尾道市久保一丁目15番1号  
電話：0848-38-9371  
FAX：0848-38-9339

★「市議会」・「おのみち市議会だよりに」に対するご意見、ご感想をお寄せください。お寄せいただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

次号は令和3年11月10日発行予定です。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。